

歴史的音源（れきおん）Q&A



Q1 歴史的音源（れきおん）とは何ですか？

A1 歴史的・文化的資産である初期のレコード（SP 盤）及び原盤の劣化、散逸等による音源の喪失を防ぐため、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等、約5万の音源をデジタル化し、国立国会図書館がデジタル化音源として配信している音源資料です。

Q2 どんな音源が配信されているのですか？

A2 下記のジャンルの音源が配信されています。

器楽（クラシック音楽）、器楽（クラシック以外）、声楽、民謡・国民音楽（外国）、民謡・国民音楽（日本）、唱歌・童謡、流行歌・歌謡曲、劇音楽、邦楽、詩吟、朗詠、落語・漫才・浪曲・講談、歌舞伎、近代演劇（日本）、演劇・演芸（その他）、演説・講演・朗読・実況、宗教、宗教音楽、教育・児童、自然音・効果音

Q3 音源の数はどのくらいですか？

A3 平成26年8月現在、48,732点の音源が公開されています。そのうち、インターネット公開音源（だれでも聴くことができる音源）が1,090点、配信提供サービスに参加した公立図書館内でのみ聴くことができる館内限定公開音源が47,642点となっています。

Q4 どこで聴くことができますか？

A4 館内限定公開音源を含む全音源について、1階・音と映像のフロアに設置してあるインターネット閲覧端末でご利用いただけます。なお、インターネット公開音源は、インターネットに接続していただければご自宅等のパソコンでも視聴いただけます。

Q5 利用するための手続きはどのようにすればよいですか？

A5 1階・音と映像のフロアカウンターへお越しいただき、「れきおん」の利用をお申し出ください。宮城県図書館利用カードが必要となりますので、お持ちでない方はあらかじめ3階登録カウンターにおいて利用カードの交付を受けてからお越しください。

Q6 1回の利用時間はどのくらいですか？

A6 1回の利用時間は30分間です。ただし、次の方の予約がない場合に限り、最大30分の延長（合計60分間の利用）が可能です。

Q7 すぐに利用できますか？

A7 「れきおん」が視聴できるインターネット閲覧端末は限られていますので、混雑している時間帯にはお待ちいただく場合もあります。その場合、予約を行い、利用開始時刻をお知らせしますので、その時刻までに改めて1階・音と映像のフロアカウンターまでお越しください。（予約は当日利用分のみです。翌日以降の予約はできません。）

Q8 CDやメモリーカードに録音できますか？

A8 録音、音源データの保存、持ち出しはできません。

その他不明な点がございましたら、1階・音と映像のフロアカウンターまでお問い合わせください。